

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット |
| 2. 体験した事例の名称 | 梯子車で架梯訓練中の操作ミスにより、隊員が建物に接触しそうになった事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 消防活動訓練で梯子車を操作していたところ、梯子車の架梯操作を誤り、バスケット内にいる隊員が建物に接触しそうになったもの。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 原因是操作の確認を怠り、人的にコントロールミスをしたもの。 |

【体験した事例の直接的原因について】



| | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。) |
|------------------|------------------------------|

【体験した事例について】



| | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 発生日時 | 平成30年9月30日 午後2時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴れ |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外 |
| 4. 体験した事例の種類 | |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度) | 重傷の怪我をしていた(させていた)だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか) | (機器等)巻き込まれ、はまれ |
| 7. 事例体験時の活動 | 演習訓練、[その他: 梯子車架梯訓練] |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか | その他: 梯子車架梯訓練 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1, 2回程度体験している。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



| | |
|-------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[28]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[3]年、階級[主事] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員] |
| ○当事者B | 年齢[48]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[3]年、階級[係長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長] |
| ○当事者C | 年齢[42]歳、勤続年数[21]年、現場経験年数[1]年、階級[主査] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員] |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) | 当事者D 30歳、勤続6年、現場経験半年、階級主事、1年に数度、機関員 |

11. 事例発生の経過。



| | 誰が(何が) | なにをした | その他・備考など |
|------|--------|----------------------|-------------|
| 経過1 | 当事者A | 梯子車のバスケットへ乗車 | |
| 経過2 | 当事者D | 梯子車のオペレーターへ乗車 | |
| 経過3 | 当事者B | 安全管理及び想定を指示 | |
| 経過4 | 当事者C | 安全管理及びオペレーター指示 | |
| 経過5 | 当事者A | 架梯場所確認し上で誘導 | |
| 経過6 | 当事者D | 架梯場所までバスケット操作3階ベランダの | 天井上部まで約30cm |
| 経過7 | 当事者A | 梯子伸梯を指示 | |
| 経過8 | 当事者D | 梯子車を起梯 | |
| 経過9 | 当事者A,B | 操作ミスを注意した | |
| 経過10 | | | |
| 経過11 | | | |
| 経過12 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた 他隊(員)との連携活動がうまくいった 他隊(員)から適切な注意を受けた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった。

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかつた。 | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかつた。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かつた(寒かつた)。 | いいえ |
| ・野次馬が多かつた。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかつた。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた(適切な指示を与えられなかつた)。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかつた。(無線が通じない等。) | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあつた。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であつた。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があつた。

| |
|--|
| |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

